



公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター

北海道よろず支援拠点

～2025年度 事業概要のご案内～

中小企業・小規模事業者のための無料経営相談所

●北海道よろず支援拠点とは

概要

- ・国が全国47都道府県に設置した**無料の経営相談所**
- ・中小企業、小規模事業者、創業予定者の方を対象に、経営上のあらゆる相談に対応

特長

- ・**無料で何度でも相談可能**（1回の相談につき1時間程度）
- ・中小企業診断士、税理士、弁護士、社会保険労務士などの有資格者のほか、金融、デザイン、食分野、マーケティングといった**各分野に精通した専門家**がご相談に対応
- ・札幌本部のほか道内各地に**6つのサテライト拠点**を設置
対面相談のほか**オンライン相談**も可能

●創業に関する相談の例

事業計画

ビジネスプランについて
アドバイスがほしい



法人設立

どの法人形態で創業
するとよいか



補助金・融資

開業資金はどのように
調達すればよいか



販売促進

どんな方法で集客する
とよいか



相談者概要

所在地 : 日高管内
業種 : 和牛素牛（仔牛）生産農家

相談者が抱える課題

- ①ブランド和牛の生産に新規参入したい
- ②販路開拓のためのブランディングがしたい
- ③販売ノウハウが無く、助言が欲しい

※商品名・ロゴは確定済み

課題設定・アドバイス内容

- (1) 道産他和牛との差別化のためのリブランディング
 - ①和牛にストーリー性を付加
 - ②「二十間道路の桜並木」と絡めて地域性を演出
 - ③ブランドコンセプトを設定
「遅咲きの和牛で花見に来たお客さんをおもてなし」
- (2) 新たなターゲット層の開拓
 - ①普段食べない60代以上の男女や30~40代女性に設定
ストーリー性に反応する層
 - ②テレビや新聞のマスメディア情報に反応する層
- (3) 販路開拓と需要創出のための認知度向上
 - ①地元のお祭りでのお披露目イベント（直売・BBQ）
 - ②新聞への発信（3紙・5回の掲載）

支援事例：畜産農家の和牛生産事業への新規参入支援

支援による実績

- お披露目イベントにインバウンド含む来場者多数
- 北海道新聞含む3紙に計5回記事掲載
- 町内の観光・飲食・小売業から取引問合せ

今後期待されること

- 業績のコロナ禍の影響からの回復
- 5年間の生産計画頭数の実現
- 町内販路の確立と町への集客効果



お気軽にお電話ください

ご予約・お問い合わせ

公益財団法人北海道中小企業総合支援センター内

北海道よろず支援拠点

☎011-232-2407

北海道よろず

検索

<https://yorozu.hokkaido.go.jp/>

 Facebook ページもあります！



公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター